



平成16年度当初予算

市議会3月定例会で平成16年度当初予算が議決されました。
その概要を市長の施政方針とあわせて紹介します。

「うるおいと活力にみちた創造性あふれるまち」の実現へ
皆さんの安心・安全につながる
「環境・防災・防犯」重視の予算編成

予算の規模

一般会計は、前年度比10・9%増の542億8000万円です。ただし、減税補てん債の借り換え分35億7000万円を除いた実質の規模は、前年度比3.6%増の507億1000万円です。

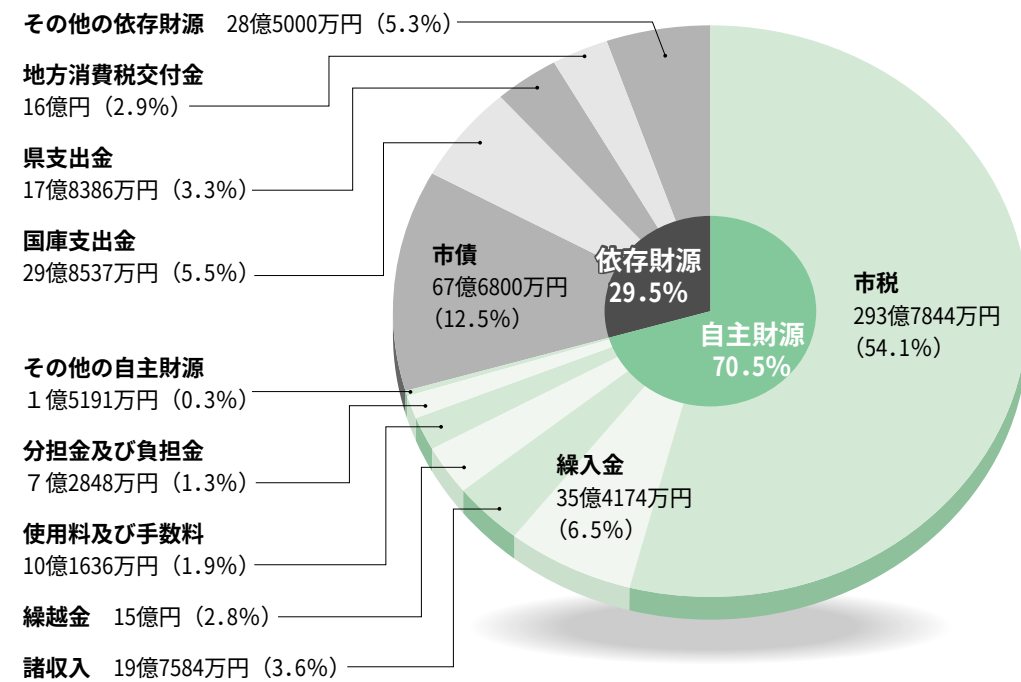
特別会計は、北部及び桜井駅周辺の区画整理事業が大きく増加したほか、国民健康保険事業、介護保険事業も引き続き増加するなどして、総額で347億9800万円となりました。

水道事業会計の42億3400万円を合わせた全体の合計では、前年度比9.8%増の93億1200万円となり、初めて90億円を超える規模となっています。

一般会計歳入の概要

歳入の中心となる市税については、可能な限り見込むこととしました。その結果、個人市民税、法人市民税、固定資産税はいずれも増加し、市税総額で前年度比5.3%増の293億7844万円となりました。

一般会計歳入 542億8000万円



用語解説

一般会計

市の行政の基本的な経費、例えば福祉、教育、土木などに要する経費について、市税などを主な財源として経理する会計

特別会計

事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計

企業会計

水道事業のような独立採算による特定の事業を行うために設置する会計

自主財源

市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金

依存財源

国・県支出金や市債などのお金

市税

地方税法などの規定に基づき市民の皆さんや市内に事業所を持つ法人などに納めていただく税金

繰入金

特別会計や基金などから一般会計に繰り入れるお金

諸収入

給食費や預金利息などのお金

使用料及び手数料

市の施設や行政サービスを利用する人から、それに要する経

費を負担してもらうお金

分担金及び負担金

市が行う事業で特に利益を受ける人から、その受益の程度に応じて負担してもらうお金

市債

利益を受けるであろう将来の市民にも公平に費用を負担してもらうよう、多額の費用が必要な事業を行うときに借りるお金

収益的収入・支出

企業の営業活動に伴い発生する収入(料金収入など)とそれに対応する支出(職員給与と費、支払利息、減価償却費など)

資本的収入・支出

経営規模拡大のための施設建設などに要する経費(建設改良費、企業債償還金など)とそれに必要な収入(企業債など)

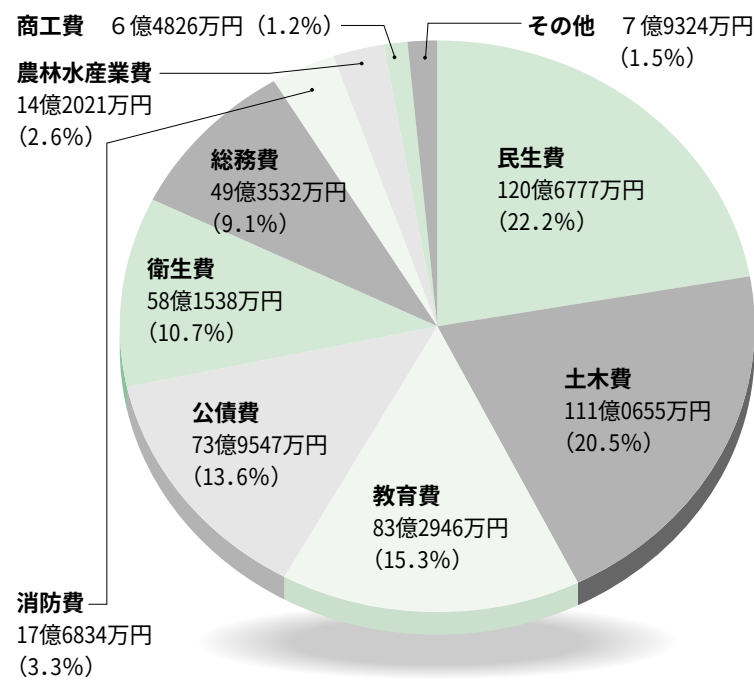
一般会計歳出の概要

目的別の構成比で見ると、第1位は民生費で、全体の22・2%にあたる120億6777万円となっています。児童手当、児童扶養手当、乳幼児医療費助成、児童クラブ整備、知的障害者通所授産施設建設補助などにより、前年度比4.3%の増となっています。

第2位は土木費の111億0655万円となっています。新安城駅南の駐車場整備や桜井区画整理地区での調整池築造、追田川調整池築造などにより、前年度比38・5%増となっています。

第3位は教育費の83億2946万円、前年度比16・5%減となっています。

一般会計歳出 542億8000万円



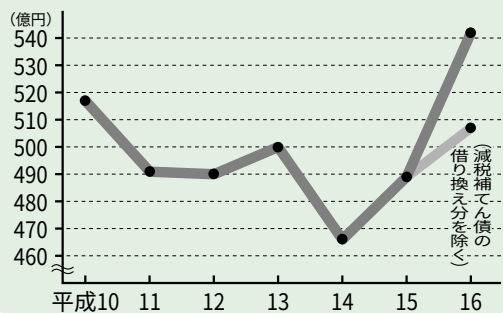
特別会計347億9800万円(前年度比9.6%増)

国民健康保険事業	105億9300万円	(+4.4%)
交通災害共済事業	4500万円	(±0.0%)
土地取得	500万円	(+66.7%)
有料駐車場事業	2億3700万円	(+49.1%)
下水道事業	52億6400万円	(+5.1%)
老人保健事業	80億1000万円	(-3.1%)
区安城北部	28億0000万円	(+124.0%)
画整安城新幹線駅	1億5100万円	(-42.6%)
理事安城作野	9億4500万円	(-34.3%)
事業安城桜井駅	21億3300万円	(+131.3%)
周 辺 特 定		
農業集落排水事業	7100万円	(-4.1%)
介護保険事業	45億4400万円	(+9.1%)

水道事業会計42億3400万円(前年度比1.0%減)

収益的支出	27億7900万円	(-0.4%)
資本的支出	14億5500万円	(-2.1%)

★一般会計当初予算額の推移★



主要事業一覧

第6次総合計画に基づく5つの基本目標を中心に、一般会計の主要事業を抜粋して紹介します。 ※「★」は、新規・臨時事業です。

●健康で人にやさしいまちづくり			＜保健医療・福祉の充実＞
乳幼児医療費助成事業	6億9336万円	小学校就学前児童の医療費を助成	
放課後児童健全育成事業	2億2670万円	市内5小学校への児童クラブ設置など	
★知的障害者通所授産施設整備補助事業	1億0770万円	知的障害者通所授産施設の建設補助	
★高齢者筋力向上トレーニング事業	986万円	身体機能低下の高齢者の健康増進と介護予防	
★乳幼児一時預かり事業	331万円	病後児童を一時的に保育	
★痴呆予防事業	39万円	回想法により痴呆症状を改善	
★八千代病院救急医療施設整備補助	6416万円	広域2次医療機関の整備に対する補助	
児童手当・児童扶養手当	14億1200万円	児童手当は対象を小学校3年生まで拡大	
★橋目霊園拡張第1期整備事業	3300万円	第1期工事として400区画を整備	
●快適で魅力にみちたうるおいのあるまちづくり			＜都市基盤の整備＞
★(仮称)新城駅南駐車場整備事業	16億0211万円	新城駅南に市営駐車場を新設	
南明治地区土地区画整理事業	3億7621万円	事業認可関連調査、緊急防災空地用地取得など	
桜井駅周辺特定土地区画整理事業	21億3300万円	1号調整池ほか築造工事、家屋移転の調査委託、補償費など	
準用河川等流域内水対策事業	3億6700万円	新田町地内追田川流域に貯留施設を建設	
市内循環バス事業	8071万円	東西線の運行見直しなどを行い、正式運行開始	
●安全で住みよい美しいまちづくり			＜生活環境の充実＞
★防犯対策事業	1191万円	県警職員の派遣受け入れ、JR安城駅前デッキに防犯カメラ設置	
ごみ埋立処分場整備事業	3億7000万円	榎前埋立処分場の再生化	
★焼却灰溶融化事業	8412万円	焼却灰を溶融化、建設資材としてリサイクル活用	
交通安全施設整備事業	6億5987万円	JR安城駅東踏切拡幅に伴う歩道設置など	
市営住宅建設事業	1億8573万円	東大道住宅の第2期建設	
防災事業（地震対策）	1億2601万円	震度分布被害予想調査、民間木造住宅耐震改修補助など	
★防災用家具転倒防止事業	1314万円	小中学校などで家具転倒防止のため補強修繕	
●ゆたかな心と創造性あふれるまちづくり			＜教育・文化・スポーツの振興＞
★新設小学校建設事業	10億3491万円	新設小学校建設のための用地購入、造成工事など	
★校舎耐震補強事業	1億7889万円	市内6小学校の耐震工事など	
★体育館改修事業	1億7108万円	エレベーター設置工事、耐震設計・工事など	
●産業の発展と人のふれあうまちづくり			＜産業の振興＞
★地域国際化事業	593万円	日本語教室の開催、生活ガイドブックの作成など	
★レンタサイクル事業	169万円	リサイクル自転車を使用して実施	
県営農業用水再編対策事業	1億1200万円	明治用水中井筋水路の排水機能を改善	
★地球環境米米フォーラムin三河安城をはじめとするプレ万博事業	5038万円	各国の外交官や地域住民参加による田植え・稲刈りフェスティバルなど	
●計画実現のために			
★(仮称)市民活動サポートセンター整備事業	976万円	秋葉レストハウス内に設置	

平成16年度 施政方針

神谷市長は、市議会3月定例会の中で、この1年、市政を進めていくうえでの基本的な考えを明らかにする「施政方針」を述べました。その概要を紹介します。

私が、昨年2月に市民の信託をいただき市長に就任しまして、早1年と半月が過ぎました。これまで無我夢中で、市民の皆さまの意思を大切にし、市民と共に安城市のあるべき姿を考え、市政に全力を尽くしてきたつもりですが、振り返りますと、市

長の業務は膨大であり、責任の重さを改めて痛感する次第です。私が掲げております「市民が主役の安城市政」については、2004年の市民手帳の表紙に言葉を記入しており、毎日、目にしながら、1日のスケジュールを確認しております。また、これからは、新しいことだけに目を向けるのではなく、今まで築き上げてきた安城市の財産を見直し、十分に活用することも大切であると考えております。

市民手帳の最初のページにあります市民憲章も市制20周年のときに制定されたものですが、市民として大切な心が書かれています。「わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、この憲章を定めます」として、5つの言葉が掲げてあります。一部を紹介しますと「たがいに助け合う」「きまりを守る」「自然を愛する」「教養を高める」「健康で、明るく楽しい家庭を

つくる」とあります。私も、この5つの気持ちを、いつも大切にするこで、子どもたちが明るく、元気に育ち、安城市が元気で素晴らしい市になるように願っております。

さて、日本の経済に目を向けますと、設備投資が増加するなど回復の兆しはありますが、雇用情勢は依然厳しい状況であります。小泉内閣は、「日本再生の歩みを実感する年」として、世界から信頼される国の実現をめざしています。

傾け、そして、町内会をはじめ、地域の皆さまのご意見を十分にお聞きしたうえで、「安城市は変わつたね」「安城市は安全で安心できるまちだね」と言っていただけのよう市政運営を行ってまいりたいと考えております。

そこで、平成16年度予算は、皆さまの意向を大切にし、環境、防災、防犯に特に重点を置いた予算としております。この予算が市民の皆さまの安心、安全につながり、心穏やかな暮らしができるようにすることが市の使命だと考え、全力を尽くす覚悟でございます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

市民1人当たりの
一般会計予算額は
324,306円



＜主な歳出項目＞	
民生費（福祉・医療）	72,101円
土木費（都市基盤整備）	66,358円
教育費（教育・文化）	49,766円
公債費（市債返済金）	44,186円
衛生費（環境・保健）	34,745円
総務費（一般事務経費）	29,487円
消防費（消防・防災）	10,565円
農林水産業費（農林水産業）	8,485円
商工費（商工業・観光）	3,873円
議会費（市議会経費）	2,233円

※平成16年3月1日現在の人口167,373人で算出。